

7-2 紀伊半島およびその周辺部の地震活動（1996年1月～3月）

Seismic Activity in and around the Kii Peninsula (January-March, 1996)

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
和歌山地震観測所

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

今報告期間中の震源分布を第1図（紀伊半島およびその周辺部）、第2図（和歌山市、有田市付近）に示す。期間中（3カ月間）に第3図の範囲内には $M \geq 3.5$ は8回（前回8回）起こっている。内7回が紀伊半島および沿岸部に起こった地震でNo.5と7を除き地殻底下地震である。最も大きかったのはNo.2の熊野地方の地震で $M=4.4$ でこの地域では近年珍しいものであった。No.5については御坊一本宮線の延長上に発生する地殻下部付近の地震と思われる。地殻上部地震でやや目立ったのはNo.7の3月9日和歌山市に発生した地震のみで、全体的には静穏であった。

なお報告期間後の4月5日に和歌山市沿岸部で $M=4.1$ の地震があり、若干の余震活動が見られた。

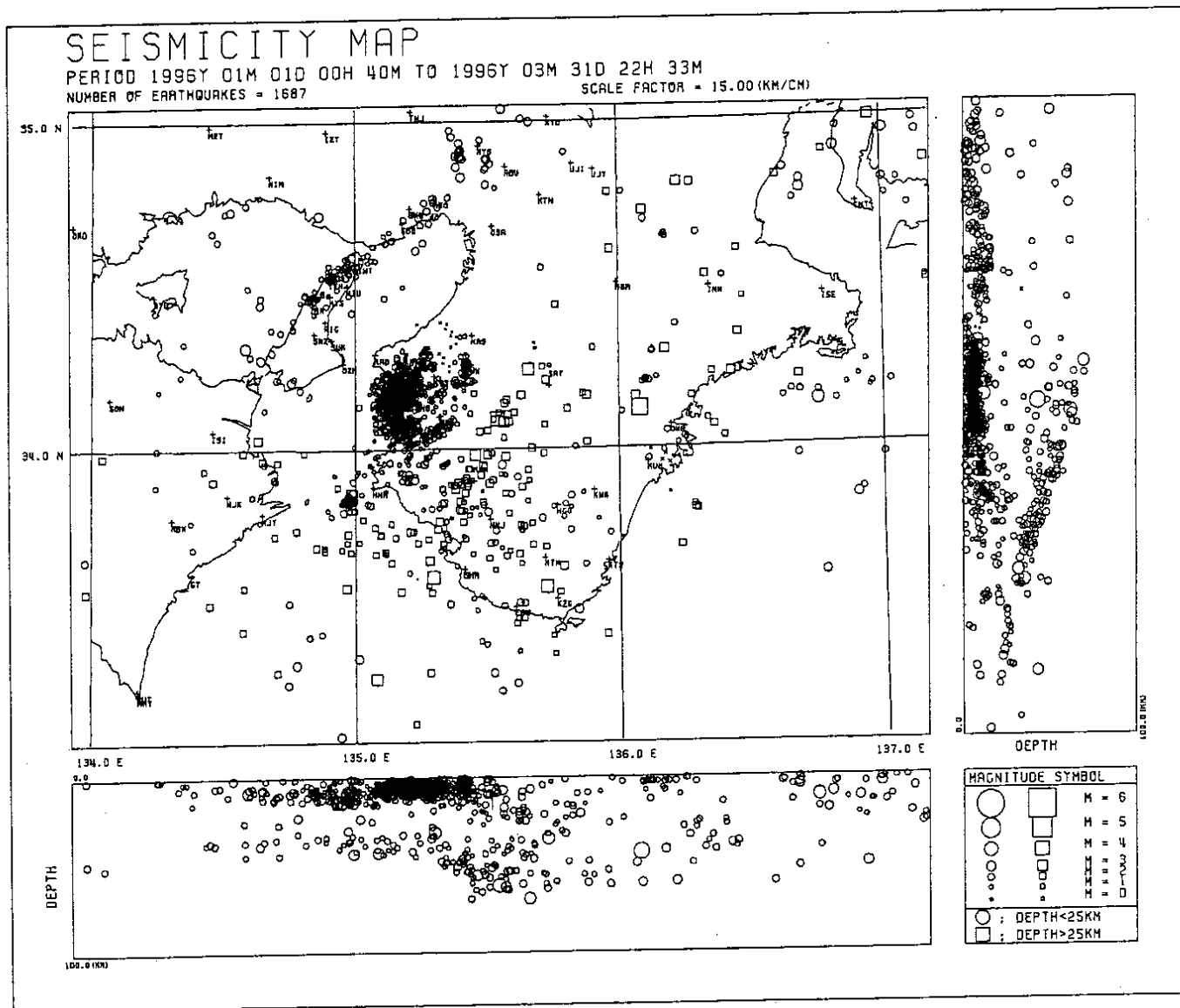
第4図は昨年10月以降の時系列を見たものであるが、阪神・淡路地区の余震活動が本年になって一段と減衰してきているのが見られるほかは大きな変化は見出せない。また、第5図は和歌山市付近について見たものであるが12月20日紀ノ川河口付近の地震（ $M:4.4$ ）の余震活動は1月中旬でほぼ終わっている。なお、4月5日の地震はこのやや南に発生したものである。

昨年未から活動の低下が見られた紀南地域について、典型的な群発活動が見られる日の岬沖の地震群と、南海域について時系列図を示す。第6図は日の岬群発地震の過去約20年の月別頻度分布である。テレメータが整備され始めた1980年以降は処理能力が高まり、整備が終わった1982年以後はほぼ一様な処理を行っているが昨年11月から本年2月の間は異常に低活動だったといえる。しかし、3月以降はほぼ平均的な活動に復してきている。第7図は海域全体の $M \geq 1.5$ の地震数月別頻度であるが、やはり同期間にやや低調であったが、3月から回復したようである。なお、昨年9月田辺沖で $M=4.8$ が起り、その後やや活発であったが、これらを均すとほぼ一定な値となっている。

第1表 今期間中の $M \geq 3.5$ の震源表（*は兵庫県南部地震の余震）

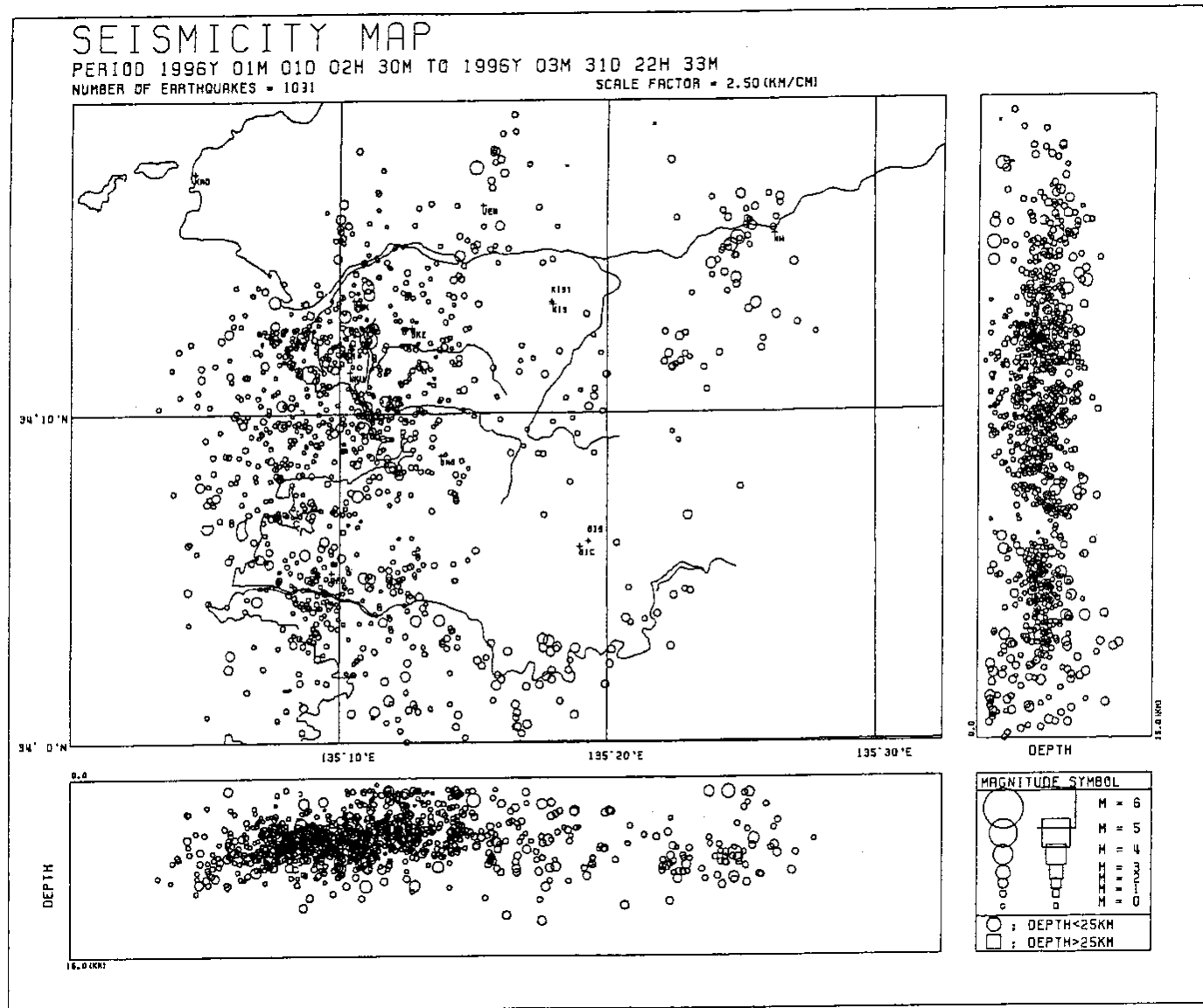
Table.1 List of comparatively large earthquake ($M \geq 3.5$) in and near the Kii peninsula.

No. 1	1996/1/04	09H55M	H=70KM	M=3.5	和歌山県北東部
No. 2	1/04	12H52M	H=43KM	M=4.4	奈良県南東部
No. 3	1/06	16H39M	H=35KM	M=3.6	和歌山県南部
No. 4	1/10	22H27M	H=62KM	M=3.9	和歌山県中部
No. 5	3/01	16H45M	H=12KM	M=3.7	志摩半島南方沖
No. 6	3/03	01H12M	H=61KM	M=3.5	愛知県東部
No. 7	3/09	08H18M	H=4 KM	M=3.7	和歌山市付近
No. 8	3/23	19H56M	H=32KM	M=3.6	田辺市沖



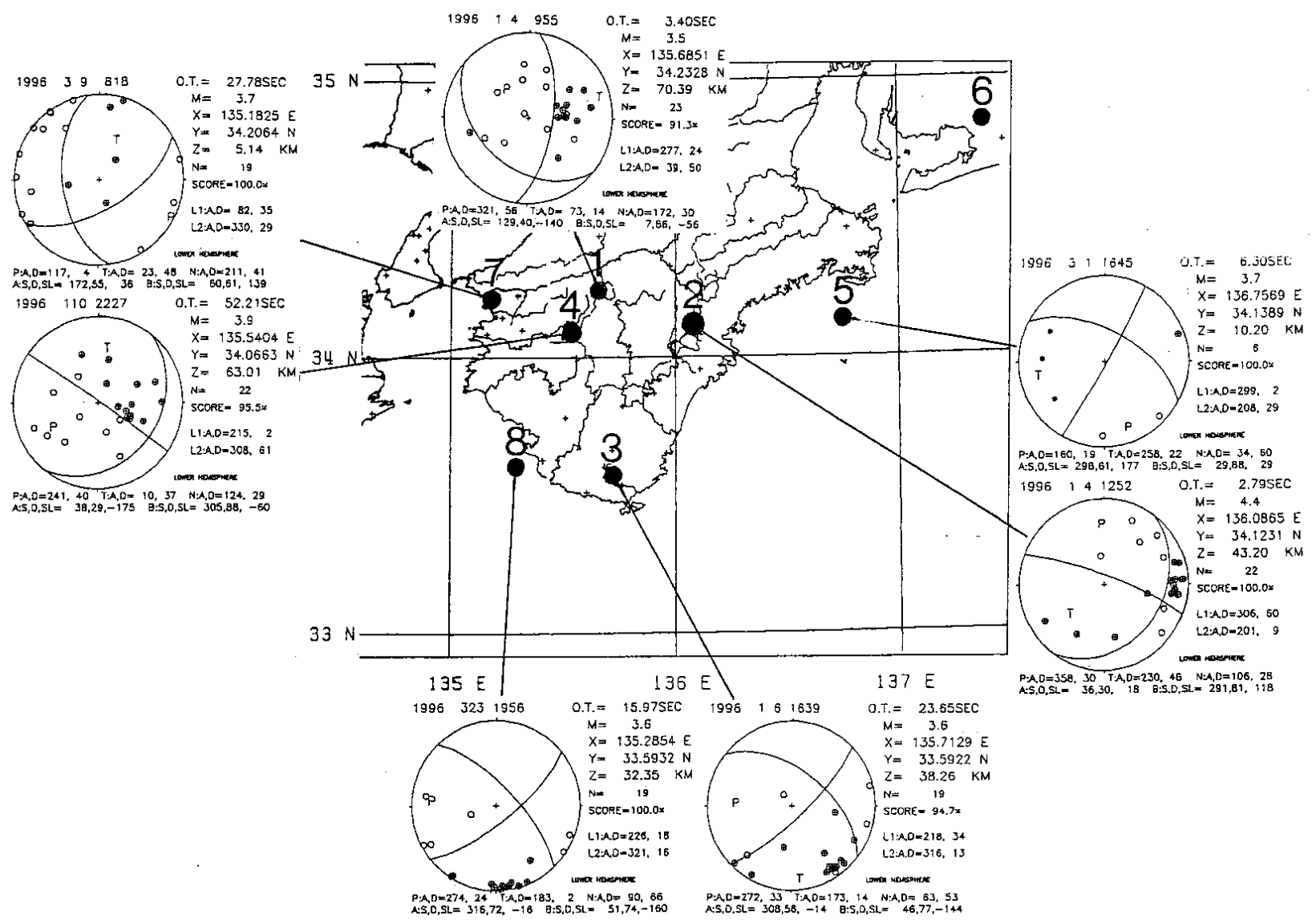
第1図 紀伊半島およびその周辺部の震源分布図（1996年1～3月）

Fig. 1 Seismic activity in and around the Kii peninsula during the period Jan. -Mar., 1996.



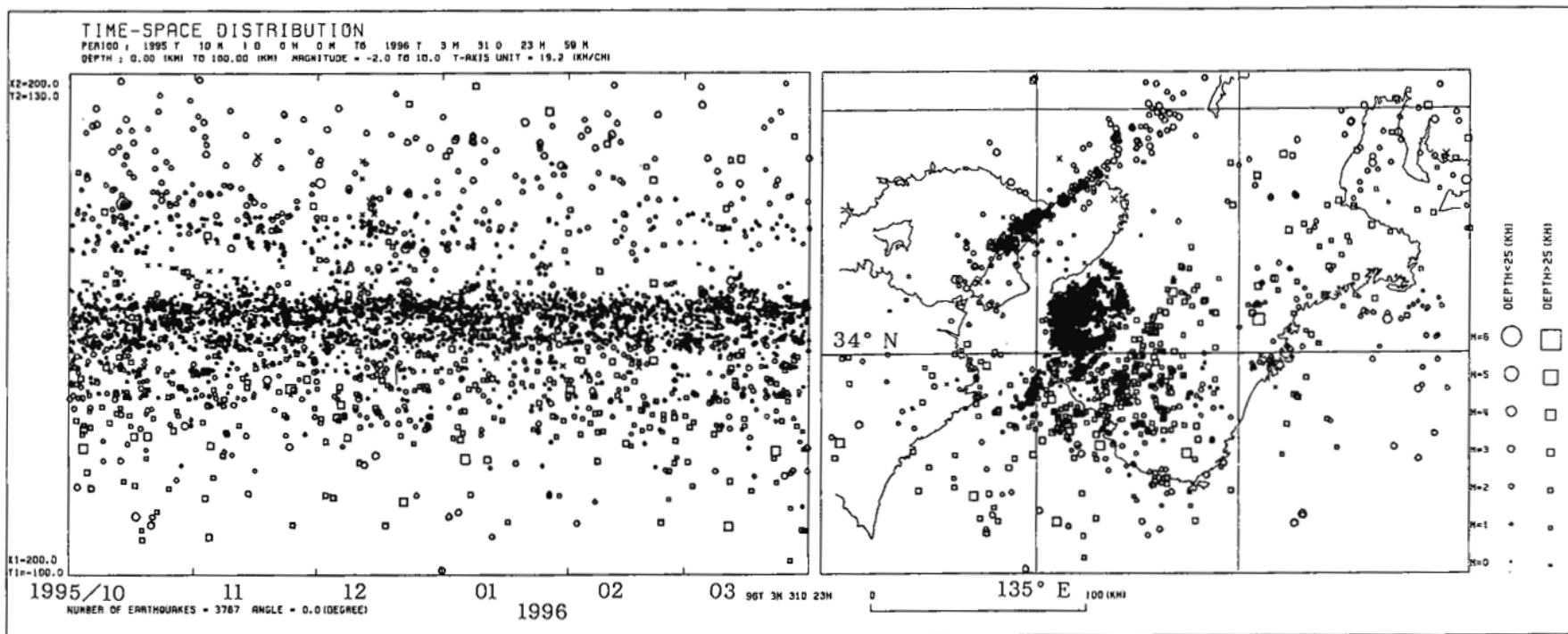
第2図 和歌山市、有田市と周辺部の震源分布図（1996年1～3月）

Fig. 2 Seismic activity in and around Wakayama city during the period Jan -Mar., 1996.



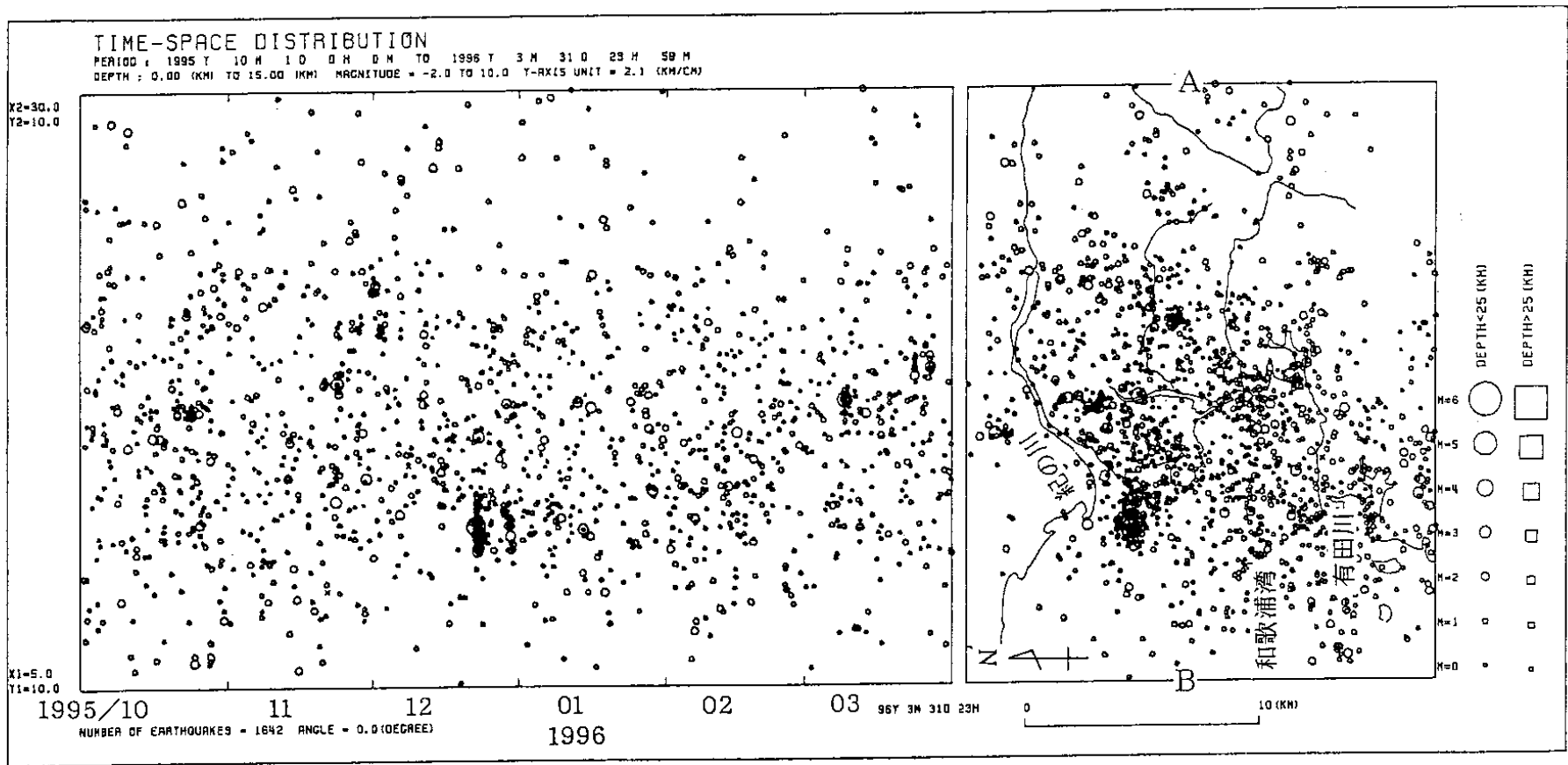
第3図 今期間中のM>=3.5の震央と主な地震のメカニズム解

Fig. 3 Distribution of comparatively large earthquake (M>=3.5) and focal mechanism solutions in and around the Kii peninsula.



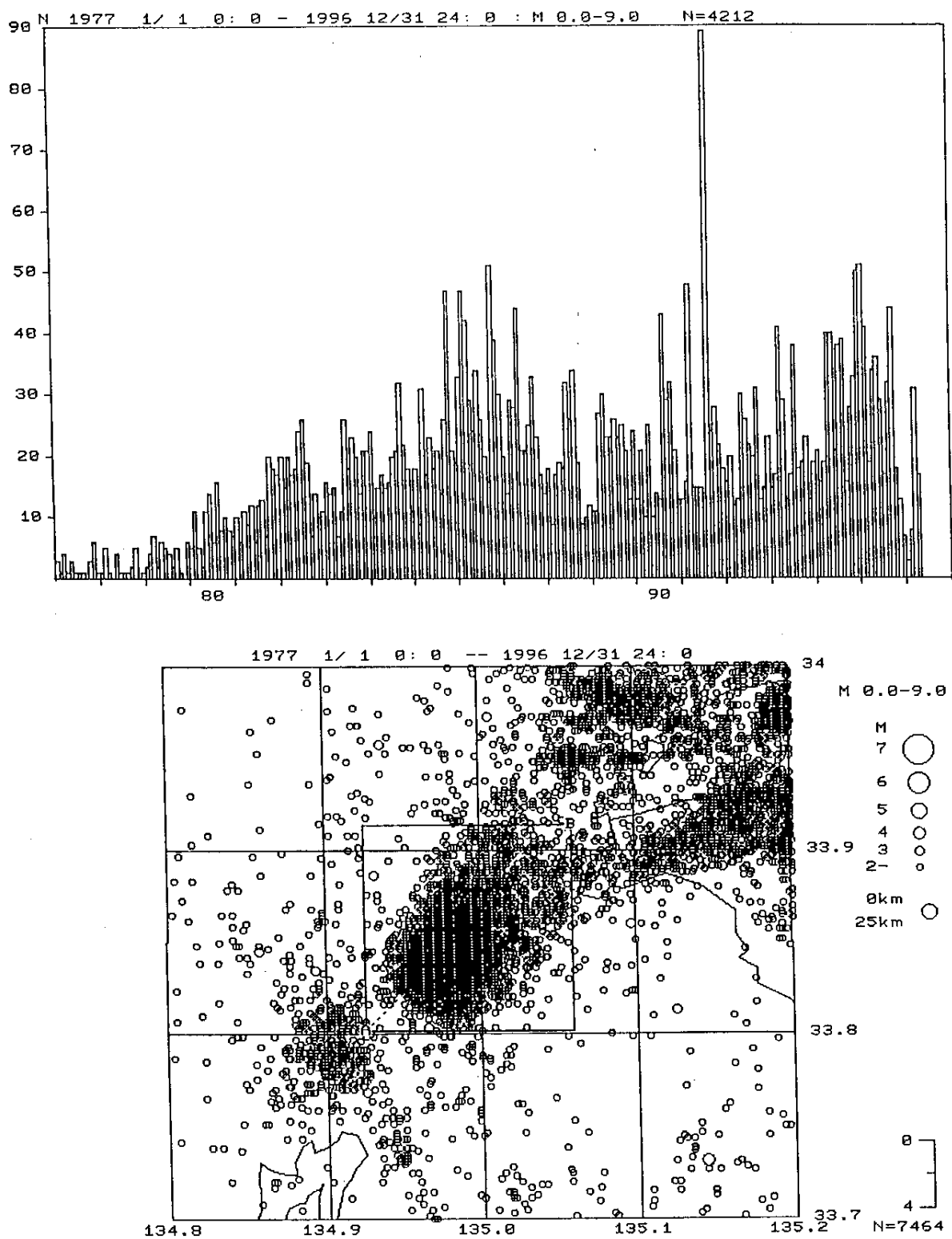
第4図 紀伊半島付近の地震の時系列図（南北断面に投影）

Fig. 4 Space-time distribution of earthquakes in and around the Kii Peninsula, during the period Oct. 1995 - Mar. 1996.



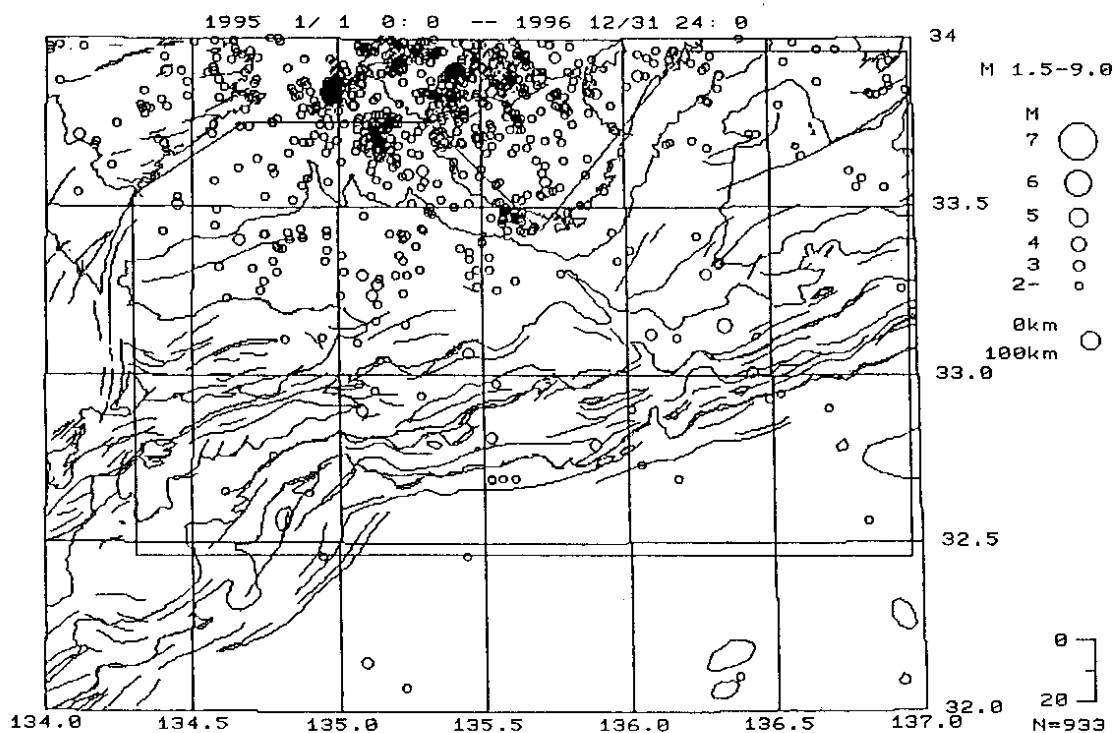
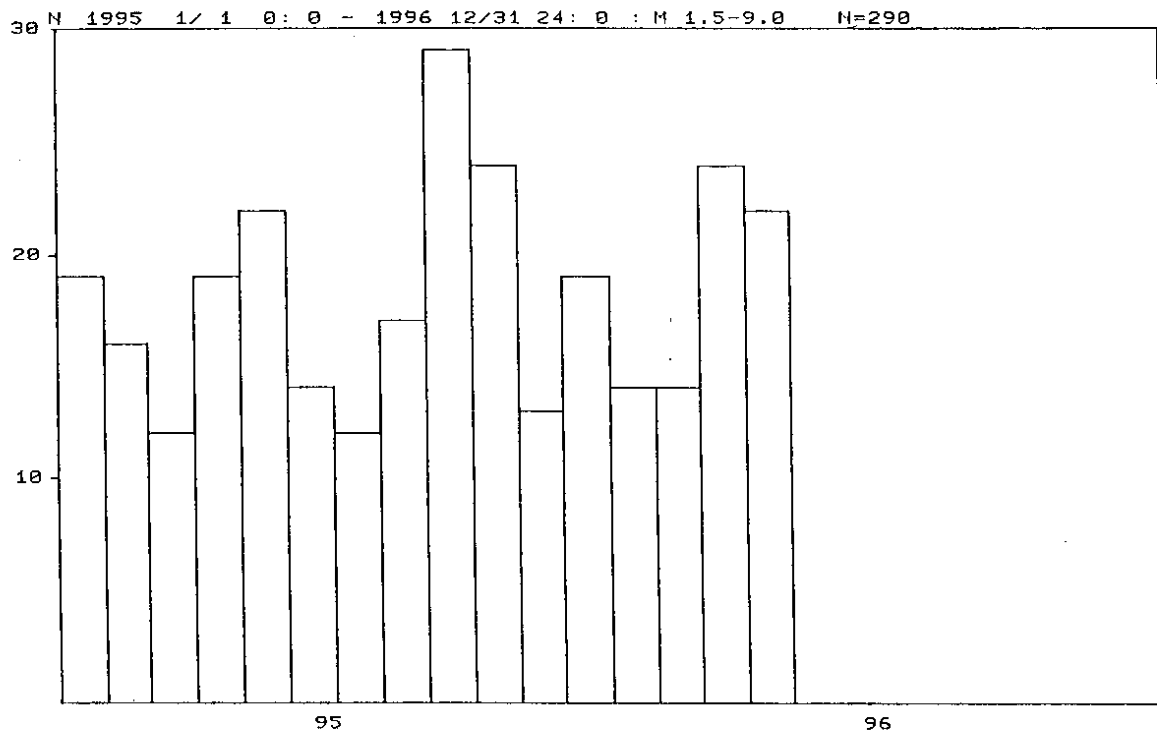
第5図 和歌山・有田付近の地震の時系列図（東西断面に投影）

Fig. 5 Space-time distribution of earthquakes in the Wakayama city, During the period Oct. 1995 -Mar. 1996.



第6図 日の岬付近の地殻上部地震の震源分布と時系列図と補助図の四角で囲んだ範囲の月別頻度分布

Fig. 6 Space-time distribution of earthquakes in and around the Hinomisaki, and monthly number of earthquakes in the region indicated by a rectangular frame, during the period Jan. 1977-Apr. 1996.



第7図 紀伊半島沖海域の地震の震源分布と補助図の多角形で囲んだ範囲の月別頻度分布
 Fig.7 Space-time distribution of earthquakes in and around the Hinomisaki, and monthly number of earthquakes in the region indicated by a polygonal frame, during the period Jan. 1995-Apr. 1996.